

令和2年度
徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

日時: 令和3年2月26日(金)
午前10時30分から正午まで
場所: 徳島グランヴィリオホテル2階
「蓬莱」

1 開 会

2 あいさつ

3 議事内容

- 1) ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2) 令和2年度の事業経過について
- 3) 令和3年度の事業計画について
- 4) 意見交換
- 5) その他

4 閉 会

農林水産基盤整備局 農山漁村振興課

1 ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全
推進事業の概要について

中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）について

1) 対策の目的

中山間地域の多くの集落では過疎化や高齢化が進み、後継者不足や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの低下など様々な課題に直面しており、農業生産と併せて国土保全や自然・文化の伝承など、農山村が持つ多面的機能は低下の一途をたどっています。

ふるさと・水と土保全対策では中山間地域を中心として、農地や土地改良施設等の利活用や地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域における活性化を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の促進を目的として、平成5年度に創設されました。

2) 対策の概要

本対策は、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業（徳島県基金）」と市町村単独事業（市町村基金）によって、地域住民による組織づくりや保全活動等を推進しています。

3) 徳島県での基金の状況

中山間ふるさと水と土保全対策事業

672,000千円 国費1/3 県費2/3

平成5年度から平成9年度にかけて造成

中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）について

1) 対策の目的

棚田が耕作放棄され多面的機能が発揮されなくなることによって、鳥獣害や土砂災害、洪水など周辺地域や下流地域に悪影響を与えることが懸念されています。

このため、棚田地域などを対象として、平成10年度から農地などの保全や利活用を行う地域住民活動に対し「中山間ふるさと・水と土保全推進事業」によって支援を実施しています。

2) 対策の概要

本対策では、都市住民との交流や景観形成にも役立てながら保全活動を推進するとともに、保全活動に必要な組織づくり、人材育成等も支援しています。

3) 徳島県での基金の状況

○棚田基金 中山間ふるさと水と土保全推進事業

630,000千円 国費1/3 県費2/3

平成10年度から平成12年度にかけて造成

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会について

開催目的

中山間地域、棚田地域における農地保全や農業・農村の活性化を目的に実施している「ふるさと・水と土保全事業」について、評価や助言をいただき、事業のさらなる拡充、推進を図る。

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

評価

意見

評価

意見

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (ふる水基金)

【事業目的】

- 中山間地域における土地改良施設及びこれと一体的に保全する必要がある農地の有する多面的機能を維持
- 住民活動による土地改良施設等の保全・利活用により中山間地域を活性化

【事業対象地域】

- 過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律において、指定及び規定された地域

※対象市町村：県内16市町村
鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、佐那河内村、神山町、勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、つるぎ町、東みよし町

【事業内容】

●調査研究事業

地域住民活動を通じた、土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査

●研修事業

住民活動のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成に寄与する研修の実施・派遣

●推進事業

事業を進めるのに必要な啓発普及活動、広報資料の作成、配布、各種イベントの開催

中山間ふるさと・水と土保全推進事業 (棚田基金)

【事業目的】

- 棚田などの多面的機能の良好な保全と都市住民も交えた継続的な地域住民活動の推進
- 保全活動を行う集落組織等の育成・支援

【事業対象地域】

自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布しており、勾配1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域

※県内棚田箇所数：75カ所

【事業内容】

●保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加促進を図るための事業

●保全活動推進事業

住民組織が行う保全活動の推進を図るために実施する事業

●保全活動支援事業

集落協定に基づいて実施される棚田などの保全活動や利活用に対して経費等の助成を行う。

効果

<ふる水基金>

- 地域リーダーを中心とした「個性ある地域づくり」に取り組む体制の整備
- 農業生産等の協働活動を通じて、中山間地域の多面的機能を維持
- 新たなコミュニティ活動の展開による地域の活性化

<棚田基金>

- 地域住民活動の活性化により、都市住民等を巻き込んだ活動参加ネットワークの構築
- 地域住民活動を推進する人材育成による活動の活性化
- 施設や農地の保全・利活用活動等への継続した支援実施による多面的機能の発揮

2 令和2年度の事業経過について

令和2年度事業経過

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
(1)調査研究 事業費			(円) 3,000,000
	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	3,000,000
(2)研修事業			770,000
	ア ふるさと水と土指導員 全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成する。	335,000
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成する。	435,000
(3)推進事業			14,570,000
	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	137,000
	イ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	773,000
	ウ 鳥獣被害予防・ ジビエ認証取得推進事業	鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援するとともに、ジビエ処理加工施設におけるHACCPに基づく衛生管理の推進等を行った。	6,000,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村 (ふるさと)元気づくり事業	地域リーダーの育成、住民によるビジョンの策定からその実現までの支援、協働活動における関係人口の拡大、各団体間の情報共有の場の創出と情報発信を行うことにより、地域が持つ「魅力」や「価値」のさらなる向上を図る。	7,230,000
	エ (うち) 徳島県ふるさと水と土 指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田地域等において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	(800,000)
	オ (うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	中山間地域において「ビジョン」の策定から早期実現を「パッケージ」として支援し、地域の魅力向上や住民の課題解決力の向上を図る。	(2,800,000)
	カ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	(1,990,000)
	キ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や活動状況を発信する。	(1,640,000)
	ク 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	430,000
合 計			18,340,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
(1)保全ネッ トワーク推進 事業			(円) 8,140,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	8,140,000
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	上記と同様。	(4,440,000)
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	上記と同様。	(3,700,000)
(2)保全活動 推進事業			6,600,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	6,600,000
	(うち) ふるさと水と土指導員活動 支援事業	上記と同様。	(700,000)
	(うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	上記と同様。	(5,900,000)
合 計			14,740,000

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

(1) 調査研究事業

A 中山間むらづくり調査事業

本県の中山間地域は、本県の農業の重要な地位を占めている。しかしながら、耕作者の高齢化や後継者不足により、農業生産基盤の整備が実施されていない地域では、農作業効率が悪く離農による耕作放棄地の増加が懸念されている。中山間地域の優良農地を保全し継承するためにも、効率的な営農を可能とする農業生産基盤整備が急務であり、この計画検討に向けた調査を行った。

また、中山間地域では、農地・里山・水路等の多様な自然が存在し、身近な動植物、田園空間が残されている。これらの豊かな環境を次世代に継承するためにも、環境との調和に配慮した農業農村整備が求められている。このことから、田園環境の保全に資するため必要な環境調査を行った。



調査計画(現地踏査)
【黒地地区】



環境調査(植物調査)
【黒地地区】



環境調査(魚介類調査)
【黒地地区】



環境調査(魚介類調査)
【黒地地区】

◆調査結果及び今後の取組

	調査名		調査結果	今後の取組方針
	地区名			
調査計画	黒地 (阿南市、小松島市)		現地踏査等により、優良農地の保全・農作業の効率化を図る区画整理事業の計画検討を実施した。	本調査での検討結果を活用し、中山間地域における農業の活性化及び優良農地の保全を考慮した事業計画書の作成に努める。
環境調査	黒地 (阿南市、小松島市)		地区内の環境調査(夏期・秋期植物調査、夏期魚介類調査)を行い、環境に配慮した工法検討を行った。	本調査で得られた知見を事業実施段階において、適切に実践することで、環境に配慮した土地改良事業の展開に努める。

◆次年度の調査計画

	調査名		調査内容
	地区名		
調査計画	八幡 (阿南市)		農業生産条件に不利のある中山間地域において、優良農地を保全し、農作業の効率化を図る事業計画策定に必要な諸調査を実施する。
環境調査	黒地 (阿南市、小松島市)		農業生産条件に不利のある中山間地域において、生産基盤整備を行い、中山間地域の活性化や農業振興を目的とした事業計画策定に必要な環境調査(春期)を実施する。

(2) 研修事業

A ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

例年、ふるさと水と土指導員として任命予定者を、ふるさと水と土基金全国研修に派遣しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、研修会が中止となった。
今年度任命予定者については、来年度以降参加予定。



指導員全国研修への参加

イ ふるさと水と土指導員県内研修会（予定）

日時：令和3年3月25日（木）
 場所：徳島市内
 内容
 (1) 指導員活動事例発表
 (2) 意見交換
 (3) 新規指導員任命 など



ふるさと水と土指導員任命式及び研修会(H30)

(3) 推進事業

ア ふるさと水と土保全対策懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日時：令和3年2月26日（金）
 場所：徳島グランヴィリオホテル



ふるさと水と土保全懇話会(R1)

イ 農林漁業体験推進事業

四国グリーン・ツーリズム推進協議会において、キャンペーン実施による農林漁業体験施設等のPRや四国4県をオンラインで繋ぎ研修会を実施した。

【取組内容】

①4県連携キャンペーン「思いっきり四国！88癒やしの旅。」

期間：令和2年8月8日～令和3年1月18日

内容：施設利用者が体験内容をInstagramに投稿するか、アンケートに答えて応募し、88名に特産品をプレゼント

応募者数：561人

主な来県者：兵庫県、岡山県、山口県、愛媛県、香川県など

②「新型コロナウイルスに対応した宿泊客受入研修会」の実施

日時：令和2年8月28日

場所：主会場：アスティとくしま

香川県、愛媛県、高知県にサテライト会場を設け、東京からオンラインにより研修を行った。

内容：農林漁家民宿での宿泊時や農林漁業体験時における注意点について

【今後の取組】

- ・思いっきり四国！88癒やしの旅。キャンペーン
- ・グリーン・ツーリズム実践者交流研修会



「新型コロナウイルスに対応した宿泊客受入研修会」徳島会場



「思いっきり四国！88癒やしの旅。」応募写真

農林漁家民宿の登録状況（累計）

年度	登録実績（累計）
平成20年度	4戸（4戸）
平成21年度	2戸（6戸）
平成22年度	2戸（8戸）
平成23年度	7戸（15戸）
平成24年度	2戸（17戸）
平成25年度	13戸（30戸）
平成26年度	3戸（33戸）
平成27年度	4戸（37戸）
平成28年度	5戸（42戸）
平成29年度	9戸（51戸）
平成30年度	11戸（62戸）
令和元年度	5戸（67戸）
令和2年度	0戸（67戸）



農家民宿の状況

ウ 鳥獣被害予防・ジビエ認証取得推進事業

鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援するとともに、ジビエ処理加工施設に対してHACCP※に基づく衛生管理の普及啓発を行った。

【取組内容】

- ①被害ゼロ集落の育成 5市町 10地区
本事業で実施した主な地区
 - ・阿南市（長生町常泉寺）
サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
 - ・牟岐町（喜来地区）
サル追い払い活動等研修会
 - ・鳴門市（大麻町姫田地区）
イノシシ対策用防護柵の設置研修会
- ②モンキードッグの導入支援
1頭導入（那賀町 1頭）
これまでの実績（県内累計32頭導入うち3頭死亡）
H24年度1頭 H25年度6頭 H26年度5頭
H27年度5頭 H28年度6頭 H29年度3頭
H30年度2頭 R1年度3頭 R2年度1頭
- ③ジビエ処理加工施設の衛生管理の普及啓発
 - ・ジビエ処理加工施設に対し、HACCPに基づく衛生管理手法について研修会を開催

【令和3年度の取り組み】

- ・「鳥獣被害ゼロ集落」のモデル育成
- ・モンキードッグの導入支援
- ・鳥獣被害対策強化月間における対策の実施

※HACCPとは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を除去又は低減させるための衛生管理の手法



サル捕獲対策研修会
（被害ゼロ集落の育成）



サル追い払い活動研修会
（被害ゼロ集落の育成）



犬の訓練
（モンキードッグの導入支援）



HACCPに基づく
衛生管理研修会
（衛生管理の普及啓発）

野生鳥獣による農作物被害の推移

年度	被害状況（面積：金額）	
平成21年度	78.2ha	102,351千円
平成22年度	102.4ha	155,905千円
平成23年度	78.4ha	128,733千円
平成24年度	84.3ha	131,880千円
平成25年度	70.6ha	119,112千円
平成26年度	71.0ha	113,451千円
平成27年度	75.6ha	122,663千円
平成28年度	64.6ha	112,598千円
平成29年度	62.9ha	111,484千円
平成30年度	46.7ha	103,206千円
令和元年度	51.2ha	94,446千円

エ ふるさと水と土指導員活動支援事業

（未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業）

ふるさと水と土指導員が土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化を図るための交流行事等を実施した場合、その要した経費について10万円を上限に補助金として交付した。

事業実施期間 令和2年5月15日から令和3年3月末

市町村名	地区名	事業内容
吉野川市	美郷（古土地）	耕作放棄地に菜の花、れんげ、ひまわりを植樹し、地域の景観美化を実施。（実施中）
美馬市	脇町（西大谷）	ひまわりとそばを植栽することにより耕作放棄地を利活用し、景観や伝統作物の維持活動を実施。（実施中）
	脇町（東大谷）	耕作放棄地にしだれ桜を植栽し、地域の景観整備を行う。（実施中）
	脇町（広棚）	景観植物の整備による耕作放棄地の解消と、地域イベントによる活性化活動を実施。（実施中）
神山町	神領（大久保）	地元、都会の親子がともに楽しむ田舎遊び体験教室（カブトムシ採集、子ども川遊び、大人の川遊び塾）を開催することにより、地域の農地、景観及び文化の次世代への継承を推進。（実施中）
那賀町	延野	地域の子どもから高齢者、農業後継者及びふるさと水と土指導員の協働により休耕田に花を植栽し、気軽に立ち寄れる花畑を作る。（実施中）
	横石	地域住民と共同で、耕作放棄地の草刈りをする事で農地の保全を図るとともに、レンゲを植栽し、景観保全に取り組んだ。

美波町	木岐	サツマイモの栽培を通じて、地域内外の住民による農業体験交流の場を創設。また、休耕田にコスモスやフジバカマを植栽し、地域の景観保全と活性化を図った。
勝浦町	坂本	地域の特色を活かした水車導入に向けた勉強会の開催。(実施中)
牟岐町	川長	耕作放棄地を活用してスイレンを植栽しピオトープを作ることで、自然観察ができる場を創出。(実施中)
つるぎ町	貞光(端山)	耕作放棄地へヨモギを植栽し、景観保全に取り組むとともに、栽培したヨモギを地域の特産品原料として有効活用することで地域活性化につなげる。(実施中)

オ あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

農山漁村地域の魅力向上や住民主体の課題解決力の向上を目的とした「魅力向上・地方創生のモデル」づくりを行うため、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から早期実現までを「パッケージ」として支援する。

【取り組み内容】

○農山漁村の活性化に取り組もうとする地域へ、外部講師等の専門員を派遣し、住民主体の「ワークショップ」(体験型講座)を開催し、住民の実行計画である「魅力創生ビジョン」を作成する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により次年度へ延期となった。

【令和3年度の実施予定地区】

県央 上勝町(椋原地区)
 県南 牟岐町(内妻地区)
 県西 三好市(有瀬地区)

○令和元年度に作成した「魅力創生ビジョン」の円滑かつ効率的な取組みについて支援し、早期実現を図った。

県南 阿南市(加茂谷地区)
 県西 三好市(旧佐馬地地区)



ワークショップ風景



阿南市加茂谷区「散策マップ作成、講演会開催」



三好市旧佐馬地地区「キノコ、木炭、もち米の商品開発」

【棚田の保全・活用の取組支援】

県内の棚田地域について、棚田の保全・活用の取組を公募し、支援を行った。

○「棚田保全活用タイプ」評価委員会

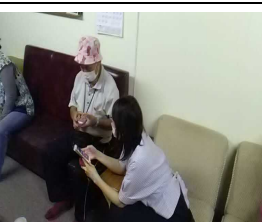
日 時：令和2年6月1日(月)

場 所：県庁6階601会議室

棚田名	実施事業名
三好市井川「下影の棚田」	「心のふるさと「下影の棚田」保全・活用プロジェクト」(コロナの影響により中止)
吉野川市美郷「高開の石積み」	「とくしまの宝「高開石積み」保全と活用」
上勝町「椋原の棚田」	「椋原の棚田保全活動持続のためのIT活用促進」
上勝町「八重地の棚田」	「新たな交流人口獲得のためのウェブ棚田観光交流フェスタの実施」



高開石積みの芝桜植え替え(美郷)



LINE等個別講習(椋原)



棚田観光交流フェスタ(八重地)

力 とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業)

社会貢献に積極的な「企業・大学・NPO法人等」協働パートナーの協力を得て、農作業や地域コミュニティ活動など、農山漁村地域の保全・活性化を図った。

現在、74団体と「協働パートナー協定」をしている。

【農山漁村(ふるさと)協働パートナー協定締結式】

日 時 令和2年11月4日(水)
場 所 県庁3階 特別応接室
内 容 協働パートナー協定締結(3団体)
感謝状の贈呈(1団体)

<新規協働パートナー団体>

H22: 8団体 H23:10団体 H24:11団体 H25:10団体
H26: 7団体 H27: 6団体 H28:4団体 H29:7団体
H30: 5団体 R1: 3団体 R2: 3団体

※協定締結74団体(うち6団体現在未継続)

【R2年度活動実績】(令和3年2月26日時点)

- 活動日数 10日間
- 活動した農山漁村 7地域
- 主な活動内容
 - ・石積みの保全活動
 - ・地域イベント支援
 - ・ユズ、ハッサクの収穫
 - ・地域の景観保全活動

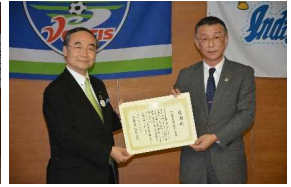
【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊研修会】

日 時: 令和3年3月25日(木)(予定)
場 所: 徳島市内
内 容 (1)事例発表(ふるさと団体・協働パートナー)
(2)基調講演
(3)意見交換 など

【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 協働活動調整・活性化業務】

協働活動実施に係る調整業務及び、協働活動をより魅力的なものへ磨き上げるための委託業務を実施し、公募型プロポーザルにより委託業者を選定した。

- ・委託業者 株式会社徳島新聞ネクスト
- ・協働活動活性化業務
 - NPO法人郷の元気(上勝町)
 - 那賀川こまち(那賀町)
 - しでの会(美馬市穴吹町)



協働パートナー協定締結式及び感謝状贈呈式(県庁)



石積みの保全活動
(吉野川市美郷)



ゆず収穫作業
(吉野川市美郷)



ひな人形仕分け作業
(勝浦町生比奈)



つつじ園の除草作業
(勝浦町坂本)



棚田ライトアップ準備
(上勝町市宇)



かや刈り作業
(上勝町榎原)



八朔の収穫
(美馬市仕出原)



阿波ふうど号試食
(美馬市仕出原)

キ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

①とくしま棚田ネットワーク設立

県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や棚田ネットワーク構成団体の活動情報を一元的に情報発信する。

日 時：令和3年2月25日（金）

場 所：グランヴィリオホテル

内 容 (1)役員選出
(2)R3年度事業計画について
(3)基調講演
(4)事例発表 など

②とくしまの農山漁村ホームページ作成

農山漁村地域への支援事業や、とくしま棚田ネットワーク構成団体の活動内容を情報発信するツールとして、ホームページを作成する。

③中山間地域魅力発見フォトコンテスト

中山間地域の魅力ある写真を通じて、ふるさと徳島を広くPRするため、第14回となる「とくしまの中山間地域魅力発見フォトコンテスト」を開催した。

51点の応募の中から10点の優秀賞を選定し、今後、各種パンフレットやホームページで紹介、また、県庁すだちくんテラスでの写真展示やビジネスチャレンジメッセ等で広くPRを図っていく。

④徳島発！輝くむらのたから展開事業

県内各地の特徴ある豊かな「農林水産業」や、それにまつわる伝統的な「食」、「景観」、「伝統行事」などの「むらのたから」を活用した農山漁村の体験交流や観光の促進に取り組む地域をH30、R1年度にかけて9地域認定した。

【認定地域】

- ・内野地域（東みよし町）
- ・善入寺島地域（吉野川市）
- ・上勝地域（上勝町）
- ・有瀬地域（三好市西祖谷山村）
- ・和田島地域（小松島市）
- ・湊名地域（美馬市穴吹町）
- ・美郷地域（吉野川市）
- ・木頭地域（那賀町）
- ・上板地域（上板町）

R1年度までに6地域のVRプロモーション映像を作成しており、R2年度は有瀬地域、上板地域、和田島地域について作成。Youtubeにて公開中。

⑤棚田台帳作成業務

県内75箇所棚田の現況調査を行い、台帳を作成。ホームページで公開予定。



棚田ネットワーク



フォトコンテスト応募作品



有瀬地域



上板地域



和田島地域

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(1)保全ネットワーク推進事業

**ア とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業
(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)**

1の(3)の力のとおり。

**イ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業
(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)**

1の(3)のキのとおり。

(2)保全活動推進事業

**ア ふるさと水と土指導員活動支援事業
(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)**

1の(3)の工のとおり。

**イ あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業
(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)**

1の(3)の才のとおり。

3 令和3年度の事業計画について

令和3年度計画（案）

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)調査研究 事業費		(円) 3,000,000
	中山間むらづくり調査事業	3,000,000
(2)研修事業		770,000
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
(3)推進事業		12,415,000
	ふるさと水と土保全対策懇話会	137,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	鳥獣被害予防・ジビエ認証取得推進事業	6,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	5,075,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(700,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(2,400,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(1,735,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(240,000)
	啓発推進事業	430,000
合 計		16,185,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1)保全ネット ワーク推進 事業		(円) 5,465,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	5,465,000
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(4,695,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(770,000)
(2)保全活動 推進事業		7,100,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	7,100,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(800,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(6,300,000)
合 計		12,565,000